

有峰湖周辺における鳥類(8)

2022年10月7日

報告者: 有峰森林文化村 石黒 秀雄

有峰湖周辺の鳥類の記録は33科⁽¹⁾(36科⁽²⁾) 92種が記録されています。昨年確認できたノビタキ、ジョウビタキ、今年確認できた、イソヒヨドリを含めると33科95種です。

今回 猪根山遊歩道において10月1日にチメドリ科のソウシチョウ(特定外来種)が観察でき 34科96種となりました。

ソウシチョウ⁽²⁾⁽³⁾⁽⁴⁾

分類: スズメ目チメドリ科

形態: 全長約15cm(スズメ程度)。体色は暗緑色、喉は黄色、胸は濃いオレンジ色、翼に黄色と濃い赤の斑紋があり、嘴は赤色、尾羽先端は黒色。

時期: 留鳥・漂鳥。

環境: 平地から亜高山の下草(笹藪など)。厳冬期には標高の低い地域に移動。

繁殖: 繁殖期は4月～10月。産仔数は1回に3～4卵。

行動: 繁殖中でも10羽ほどの群れがよく観測される。秋には20羽以上の群れやシジュウカラ類と混群をつくる。

食性は昆虫・果実

鳴声: 「ジッ、ジッ・ピーピーピー・チョロリーロリ」など。

国内移入分布: 東京、神奈川など関東以南。

移入年代: 江戸時代から飼育されていたが、屋外への定着は兵庫県神戸市の1931年。

移入元: 不明。自然分布はアジア南部。

影響: メジロ、コマドリ、コルリ、ウグイスなどへの影響が懸念される。



引用(1) 富山市科学文化センター 1996有峰地域自然環境調査報告

(2) 鳥くんの比べて識別! 野鳥図鑑670 2014年 文一総合出版 科名等は日本鳥学会2012に準拠

(3) 山溪ハンディ図鑑7 日本の野鳥 山と溪谷社 1998年9月1日初版第2刷

(4) 国立環境研究所 侵入生物データベース HP 2022年10月6日検索